

■中国：2020年、運転中原発6,000万kWに

2013年9月2日に開幕した「2013年中国国際原発設備展示会および原子力発電の持続可能な発展に関するフォーラム」において、国家核電技術公司の関係者は、「今後7年間に、原子力発電の設備容量は年間10基程度のペースで増えていく。国の計画では、2030年に原子炉200基が稼働することになっている。そのためには、2015年までに年間4～6基、2016年～2020年には年間6基～8基、2020年以降は年間10基を運転する必要がある」と発言した。中国工程院アカデミー委員の葉氏は、「原発開発は加速され、2020年には運転中の設備容量は約6,000万kWと、現在の1,500万kWの4倍になる」という見方を示した。